



平成29年5月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成29年4月13日

上場会社名 株式会社ケイブ
コード番号 3760 URL <http://www.cave.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長・CEO (氏名) 高野 健一

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役・CFO (氏名) 菊地 徹

TEL 03-6820-8176

四半期報告書提出予定日 平成29年4月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年5月期第3四半期の業績(平成28年6月1日～平成29年2月28日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年5月期第3四半期	2,066	21.3	50		58		206	
28年5月期第3四半期	1,702	46.6	78		75		72	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年5月期第3四半期	82.52	
28年5月期第3四半期	30.06	30.06

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年5月期第3四半期	1,246	804	64.5
28年5月期	1,071	619	57.6

(参考)自己資本 29年5月期第3四半期 804百万円 28年5月期 617百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年5月期		0.00		0.00	0.00
29年5月期		0.00			
29年5月期(予想)				0.00	0.00

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年5月期の業績予想(平成28年6月1日～平成29年5月31日)

平成29年5月期の業績予想につきましては、現時点で合理的な業績予想の算定ができないことから記載しておりません。なお、当該理由などは、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」に記載しております。

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 有
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 無
修正再表示	: 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年5月期3Q	2,782,600 株	28年5月期	2,472,600 株
期末自己株式数	29年5月期3Q	47,000 株	28年5月期	47,000 株
期中平均株式数(四半期累計)	29年5月期3Q	2,505,018 株	28年5月期3Q	2,417,644 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な不確定要素により大きく異なる可能性があります。
- ・当社は、当第3四半期決算短信の適時開示後、決算補足資料をホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(平成28年6月1日から平成29年2月28日まで)における我が国経済は、消費者物価の横這いが続くなど、一部に改善の遅れもみられますが、設備投資や個人消費が持ち直し、企業収益が改善しており、緩やかな回復基調が続いております。先行きにつきましては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待されますが、アメリカの政策に関する不確実性や金融資本市場の変動が、海外経済全体に与える影響に留意する必要があります。

このような環境の中、当社が注力するスマートフォンゲーム市場においては、平成28年における世界のスマートフォンアプリパブリッシャー上位52社のうち、17社を日本企業が占めており、国別で首位となりました(App Annie『Top Publisher Award』:平成29年3月7日発表)。今後も日本におけるアプリ上でのエンターテインメントコンテンツの消費がより一般化する傾向が続くものと予想されます。

当社におきましては、平成28年12月及び平成29年2月にスマートフォンネイティブゲーム『ゴシックは魔法乙女へさっさと契約しなさい〜』の大型アップデートを実施し、新規ストーリーや新機能の追加を通じて、より長く楽しめるゲームアプリを目指して改善を進めてまいりました。一方で、平成28年末に東京ビッグサイトで開催された「コミックマーケット91」への出展や、平成29年2月にアニメコラボカフェ『SHIROBACO』において期間限定「ごまおつかフェ」を開催し、リアルイベントを通じたユーザー満足度の向上にも努めました。これらのリアルイベントには多くの『ゴシックは魔法乙女』ファンが来場し、ユーザーの熱量を確かめることができました。

グローバル市場に対しては、当社のゲームライセンスを韓国Mobirix社に提供することにより、平成28年12月に『虫姫さま GOLD LABEL』、平成29年1月『怒首領蜂Unlimited』の配信を開始しております。また、平成29年1月には『ゴシックは魔法乙女』の台湾・香港・マカオ展開を目的にガンホー・ガマニア社とライセンス契約を締結しております。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績は売上高2,066百万円(前年同期比21.3%増)、営業損失50百万円(前年同期は78百万円の営業利益)、経常損失58百万円(前年同期は75百万円の経常利益)、四半期純損失206百万円(前年同期は72百万円の四半期純利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

総資産は、前事業年度末に比べて175百万円増加し1,246百万円となりました。これは、現金及び預金280百万円の増加、未収入金33百万円の減少等により、流動資産が243百万円増加したこと、ソフトウェア50百万円、ソフトウェア仮勘定12百万円の減少等により、固定資産が68百万円減少したことによるものであります。

(負債)

負債は、前事業年度末に比べて10百万円減少し441百万円となりました。これは、未払金43百万円の増加、未払費用14百万円、未払消費税等47百万円の減少等により、流動負債が18百万円減少したこと、リース債務7百万円の増加により、固定負債が7百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産は、前事業年度末に比べて185百万円増加し804百万円となりました。これは、資本金196百万円、資本準備金196百万円が増加したこと、利益剰余金206百万円が減少したこと等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月期は『ゴシックは魔法乙女』が好調に推移し、黒字化いたしました。しかしながら平成29年5月期の業績予想につきましては、1タイトルへの依存度が高くなっており、『ゴシックは魔法乙女』の動向によって全社業績が大きく左右されることから、現時点においては、信頼性の高い通期及び半期の業績予想数値を算出することが困難であります。

したがって平成29年5月期の業績予想につきましては、これらの当面の進捗状況を踏まえ、合理的な業績見通しの算定が可能になった時点で速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備および構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期累計期間において、当該変更が損益に与える影響はありません。

(3) 追加情報

繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期会計期間から適用しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年5月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	342,950	623,767
売掛金	23,423	19,966
商品及び製品	4,541	3,112
貯蔵品	2,322	184
前払費用	17,354	20,155
未収入金	276,510	242,904
その他	484	943
貸倒引当金	△215	△26
流動資産合計	667,371	911,006
固定資産		
有形固定資産		
建物	56,737	56,737
減価償却累計額	△23,259	△26,750
建物(純額)	33,477	29,987
車両運搬具	899	—
減価償却累計額	△299	—
車両運搬具(純額)	599	—
工具、器具及び備品	108,812	107,261
減価償却累計額	△97,197	△93,889
工具、器具及び備品(純額)	11,614	13,372
有形固定資産合計	45,692	43,359
無形固定資産		
商標権	2,358	1,867
ソフトウェア	72,088	21,903
ソフトウェア仮勘定	177,680	164,913
その他	630	630
無形固定資産合計	252,758	189,315
投資その他の資産		
関係会社株式	30,000	30,000
敷金	59,368	56,751
差入保証金	16,022	16,011
長期未収入金	29,499	29,499
貸倒引当金	△29,499	△29,499
投資その他の資産合計	105,391	102,762
固定資産合計	403,842	335,438
資産合計	1,071,214	1,246,445

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年5月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年2月28日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	241,666	237,499
リース債務	—	2,545
未払金	72,619	116,548
未払費用	39,913	25,670
未払法人税等	9,000	7,771
未払消費税等	68,081	20,559
前受金	15,244	17,633
預り金	5,290	5,437
流動負債合計	451,815	433,664
固定負債		
リース債務	—	7,992
固定負債合計	—	7,992
負債合計	451,815	441,657
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,093,401	1,290,206
資本剰余金		
資本準備金	1,037,040	1,233,844
資本剰余金	1,037,040	1,233,844
利益剰余金		
利益準備金	870	870
その他利益剰余金		
別途積立金	10,000	10,000
繰越利益剰余金	△1,477,296	△1,684,021
利益剰余金	△1,466,426	△1,673,151
自己株式	△46,876	△46,876
株主資本合計	617,138	804,022
新株予約権	2,260	765
純資産合計	619,398	804,787
負債純資産合計	1,071,214	1,246,445

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成27年6月1日 至平成28年2月29日)	当第3四半期累計期間 (自平成28年6月1日 至平成29年2月28日)
売上高	1,702,908	2,066,107
売上原価	638,911	653,850
売上総利益	1,063,997	1,412,256
販売費及び一般管理費		
回収費	436,730	612,962
広告宣伝費及び販売促進費	186,844	425,345
役員報酬	51,900	57,300
給料及び手当	118,432	108,085
研究開発費	19,872	43,857
地代家賃	26,413	25,805
支払手数料	16,450	18,899
その他	128,418	170,170
販売費及び一般管理費合計	985,063	1,462,426
営業利益又は営業損失(△)	78,934	△50,169
営業外収益		
受取利息	36	2
受取手数料	59	16
前受金消却益	3,264	—
その他	1,257	18
営業外収益合計	4,618	37
営業外費用		
支払利息	1,686	3,104
新株予約権発行費	5,530	4,239
その他	1,252	688
営業外費用合計	8,469	8,032
経常利益又は経常損失(△)	75,082	△58,164
特別利益		
新株予約権戻入益	66	—
特別利益合計	66	—
特別損失		
減損損失	—	146,367
固定資産売却損	—	127
固定資産除却損	—	12
特別損失合計	—	146,508
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	75,149	△204,672
法人税、住民税及び事業税	2,470	2,052
法人税等調整額	—	—
法人税等合計	2,470	2,052
四半期純利益又は四半期純損失(△)	72,679	△206,724

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期累計期間において、新株予約権の権利行使により、資本金が196,804千円、資本準備金が196,804千円増加し、当第3四半期会計期間末において資本金が1,290,206千円、資本準備金が1,233,844千円となっております。

(セグメント情報等)

当社は単一の報告セグメントであるため、記載を省略しております。